

1. ごあいさつ

こんにちは。株式会社アイリンク、照井です。

子供が免許を取りました。将来の就職も考えてマニュアル免許です。先日、その公道デビューに助手席に乗りましたがスリル満点でした。初心者にとってオートマチックとマニュアルの違いは大きいですね。自分の時はマニュアルが当たり前でしたが、時代が違うようです。

まあ私は今でもマニュアル車ですが…。理由はかつて会社のオートマ車でつい眠ってしまいガードレールをこすったからです。だからクルーズコントロールなんて絶対無理です。



MT車は眠くならない？

2. 脚光を浴びるベーシックインカム

近年話題のベーシックインカム「そんなことしたら働かなくなる」など様々な議論を巻き起こしています。本当に人は働かなくなるのでしょうか？それともベーシックインカムは福祉問題解決の切り札でしょうか？

ベーシックインカムとは、収入や労働条件に関わりなくすべての人々に一定の現金を給付する制度で、右の条件を満たすものです。ベーシックインカムは1516年にイギリスの思想家トマス・モアが出した「ユートピア」という本が起源と言われています。

- ・全ての国民に給付
- ・個人単位で給付
- ・無条件で給付
- ・現金で給付
- ・生涯にわたり定期的に給付

3. 現代社会の課題

① 経済成長の終焉

成熟社会では人々の価値観は金銭だけでなく「豊かな人間関係」、「社会的な承認」、「自然との共生」に向かいます。しかしこうした活動は金銭的価値を生みにくいため、従来の経済活動とはなじみにくい点が課題です。

実は先進国経済の最大の課題は国内の需要不足です。そのため生産能力が過剰となり失業が慢性化しています。加えてグローバル競争は労働者に発展途上国の低賃金労働者との競争をもたらしました。対してイノベーションはIT分野に限定され大きな雇用を生んでいません。地下鉄、タクシー、

映画館は100年前と変わらず、労働者の賃金は低いままです。「欲しいのは空飛ぶ車だったのに手に入れたのは140字だった」(IT投資家で元トランプ大統領顧問ピーター・ティール氏) 社会学者エリオット・シヨアは「働き過ぎのアメリカ人」の中で「競争が激しく労働者の権利保護が希薄な社会では、経営者は多くの労働者を雇うよりも少ない人間を長時間働かせることを選ぶ」と述べています。日本でも企業は正社員の数を減らし非正規社員を増やしました。正社員の労働時間は長くなり結果を求めて常にプレッシャーにさらされるなど労働環境は過酷になっています。

② 働いている人は意外に少ない？

イギリスでは貴族は使用人や奴隷を使い自ら働かない文化でした。一方アメリカ人は、これまで自らの力で農場を開拓し家を建てた歴史があります。彼らにとって労働は収入に加えて社会的な義務であり、よい人生を築く基盤です。労働は無一文でも頑張れば財産と安心が手に入るというアメリカンドリームの一部なのです。

しかし現代は働いている人はそれほど多くありません。日本の全人口の中で働いている人の割合は45.7%、働いていない人の方が多いのです。働いていない人の内訳は、家事、老人、子供などです。では働いていない人は社会の役に立って

いないのでしょうか？いいえ、働いていなくても消費者として重要な役割を果たしています。つまり「私たちが食べているからあなたたちに職がある」のです

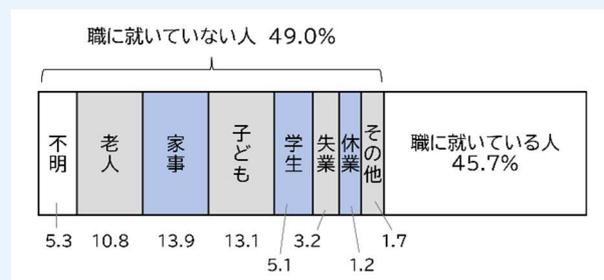


図1 日本の就業者の割合と非就業者の内訳

【お金があっても意味がない】

先進国には社会が必要なサービスがまだまだあるのですが、十分な対価を生み出せない点が問題です。ベーシックインカム推奨者ゲッツ・W・ヴェルナーは「私たちはお金があるから生活できるのでなく、お金をもらって商品やサービスを生産してくれる人がいるから生活できる」と言います。彼が育った旧東ドイツでは他人のために生産やサービスをする人が不足し、店に商品はなくお金があってもどうしようもありませんでした。

【福祉の効果は？】

働いていない人に働いてもらうための就業支援は効果に疑問が持たれています。これについて堀江貴文氏は「社会の富を食いつぶしている負の労働があるのではないか」

「20万円/月の賃金の労働を作り出すのに社会全体で30万円/月のコストをかけるなら、相手に20万円渡せば10万円節約できる(ベーシックインカム)」と述べています。

【最低賃金上げが失業を促す】

地方では例え低い賃金で働きたい人がいても最低賃金の制約があります。例えば震災前の東北地方で時給400円で事務員を募集したところ応募が殺到しました。時給700円で雇用するには1人1時間1,000円の粗利が必要で、それには1時間2000円以上の売上が必要です。しかし過疎化の進む地方ではそれだけの売上がないため雇用することができません。今後最低賃金を引き上げれば、地方の雇用はますます減っていきます。

③ 貧困がレジリエンスを蝕む ～一度転ぶと立ち上がれない～

人生で経験するショック（本人が選択したわけではない過酷な出来事）に対処し、自ら立ち直る力を「レジリエンス」といいます。アメリカではフルタイムで働いても最低賃金では貯金ができず、問題が起きればすぐに生活に行き詰ってしまいます。貧困がレジリエンスを蝕んでいるのです。アメリカ人10人のうち4人は急に400ドル必要になっても用意できないといわれています。例えばジェイリーンは、車のタイヤが急になりませんがタイヤを買う110ドルがなく欠勤しました。そのため勤務先を解雇され収入を失った彼女は、路上生活者になってしまいました。

レーガン政権は福祉政策を手当たり次第に受給し福祉を食い物にする「福祉の女王」がいると発表しました。福祉受給者は差別され、給付に格差が生まれました。白人の多いバーモント州では貧困家庭の78%が福祉給付を受けていますが、

黒人人口の多いルイジアナ州では給付はたった4%です。

【厳しいから働けない】

このような格差が生じるのは行政担当者の裁量で給付が決まるからです。日本も同様で、生活保護の捕捉率は、イギリス90%、ドイツ45%に対し日本は18%です。受給の際担当者から個人の尊厳を傷つける言葉を投げつけられたり、他人からバッシングや差別を受けるなど、生活保護に対する偏見は強く残っています。

また厳しい審査を経て受給できても、就労すると減額されます。そのため就労への意欲が削がれ貧困から脱出できない「貧困のワナ」、就労して一度給付が打ち切られると、その後再び失業した時に福祉給付が受けられない「不安定のワナ」などがあるため、一度給付を受けると抜け出せなくなってしまう。

4. ベーシックインカムの効果

① 確実な貧困対策とセーフティネットの充実

このような福祉給付の格差と不安定さ、就労への障害に対し、これを解決し確実な貧困対策とセーフティネットを低コストで実現するのがベーシックインカムです。加えて次の②から④の効果もあります。

② 消費市場の拡大

低所得層は富裕層よりも手持ちのお金をより多く消費に回すため消費が拡大します。減税などの景気刺激策は、効果は富裕層により強く出ます。しかし高級品に消費しても地元の製品やサービスなど地域経済の需要は増えません。また高額な輸入品の消費が増えても、逆に国際収支の赤字が増加するという「国際収支の天井」になってしまいます。

③ 労働市場の流動化

もし失業してもベーシックインカムで最低限の生活ができれば、短期間のプロジェクトへ参加したり、海外企業に勤務したりと多様で流動的な働き方ができるようになります。また失業しても最低限の収入があれば、ブラック企業で過酷な条件で働くくらいなら辞める方を選択します。

④ 起業の活性化

日本で起業するためには安定した正社員の地位を捨てなければなりません。しかしベーシックインカムがあれば例え起業に失敗しても再起が容易になります。そのため起業しやすくなります。歴史的な大発見をした人たちの多くは裕福で生活費の心配をする必要がない人でした。ダーウィンは裕福な一家に育ち働く必要がないため考える時間はたっぷりありました。

画家のゴッホは、生きている間に売れた絵はたった1枚でした。このダーウィンもゴッホも今の労働統計では無業になります。ベーシックインカムによって夢追い人が増えるかもしれません。しかし業績を残せなくても社会に害はなく彼らの中からダーウィンやゴッホに匹敵する人が生まれ可能性もあります。

5. ベーシックインカムの実験結果 ～貧困対策～

すでにアフリカ、インド、ブラジルの貧困地域で社会実験が行われています。

1. アフリカ

ナミビア共和国のオチペロ・オミタラ村では、政府が2008年から2年間ベーシックインカム給付の試験を行い、ベーシックインカムとして1か月1人100ナミビアドル(700円)を給付しました。人々はベーシックインカムを食料や学費など必要なものに使い、子供は小学校に行けるようになり、生活は大きく変わりました。ベーシックインカムを元手に食べ物、たばこ、衣類を仕入れて商売を始める人、ミシンを買って民族伝統のドレスを作って売人が出てきました。その一方懸念されていたアルコールの消費は増えませんでした。



図2 ベーシックインカムで商売ができる

② インド

インド中部マディヤ・プラデシュ州で2010年からベーシックインカムの試験プロジェクトが行われ、村の住民6,000人にベーシックインカムを給付しました。それまでは貯蓄がないため、病気になると治療のため高利貸からお金を借りていました。しかし現金収入が少ないため借金が返済できなくなると、代わりに地主の農園で無償で働かされる「債務奴隷」になってしまいます。その結果自分の畑を耕す時間がなくなり、ますます貧しくなる悪循環でした。村人はベーシックインカムで債務を減らしたり、低額の融資を受けて農具や種子、肥料を買って収穫をより増やすことができました。

③ イギリス

路上生活4年以上のホームレスに「何が必要か」と聞いて「現金が必要」と答えた13人に794ポンド(16,000円)を支給しました。その結果11人は1年以内に路上生活を脱しました。アルコールや薬物、ギャンブルのために金を使った人は皆無でした。これに対してイギリスのホームレス対策費は一人当たり年間26,000ポンド(348万円)(医療、警察、刑務所など)もかかっています。

6. 財源はあるか？

「ベーシックインカムにはいいと思うが、財源がないのではないか」財源については古山明男氏、波頭亮氏など多くの人が試算しています。一例として、医療扶助や介護扶助を現状通りとすれば、必要なベーシックインカムは8万円/月人で、必要な資金は122兆円です。財源は国民年金・基礎年金から22.2兆円、生活保護から1.2兆円、雇用保険の失業保険から1.5兆円、厚生年金から32.4兆円、計57.3兆円です。残り64.7兆円は、所得に対する税金や社会保険料の負担割合を引き上げます。現在は42%ですが、これを北欧並みの60%に引き上げれば76.7兆円歳入が増加し不足を賄うことができます。

【官僚の抵抗】

ベーシックインカムの導入に強い抵抗が予想されるのは官僚です。些細にルールを決めて何事も自分たちでコントロールをしたい彼らにとってベーシックインカムは官僚の仕事が激減し官僚がコントロールできる範囲を大幅に狭めるからです。

7. ベーシックインカム・プラスアルファ ～ゲゼルマネー～

古山明男氏は、ベーシックインカムを電子通貨で発行し、この電子通貨にマイナス金利を付けた電子式減価マネー(ゲゼルマネー)で給付することを提唱しました。

ゲゼルマネーは1900年代初頭にドイツのシルピオ・ゲゼルが提唱したもので、毎月1%ずつ価値が下がるお金です。紙幣に12個のスタンプを押す個所があり、毎月スタンプを貼

らないと使えない仕組みで、スタンプ代がマイナスの金利です。ゲゼルマネーはドイツのシュヴァーネンキルヘンやオーストリアのヴェルグルで自由通貨として発行されました。人々はスタンプ代を支払わないようにできるだけ早くお金を使ったため驚異的なスピードでお金が町を循環し、失業に悩まされた町が瞬く間に活況を呈しました。

7. 温故知新「フラッシュメモリー」

今やスマホの容量の平均は 100GB、一昔前ならハードディスクが何個も必要な容量です。これはフラッシュメモリーの進化によるものです。その発明者は元東芝の舂岡富士雄氏(現 東北大学名誉教授)です。

1971 年東芝に入社した舂岡氏は、フラッシュメモリーの原型となる「書き込みと消去の出来る MOS-FET」という半導体に取り組みしていました。その後 DRAM の開発に移動した舂岡氏は、DRAM が売れないのに業を煮やし自ら希望して営業へ異動し渡米しました。しかし後発で価格も高い東芝の DRAM は勝負にならず 1 年後に日本に戻りました。

入社当時手がけたフラッシュメモリーの原型は開発が暗礁に乗り上げていました。DRAM のようにひとつひとつのセルを「正確に」消去したためコストの壁にぶつかったのです。舂岡氏は「正確さ」を捨て一括で消去すれば低価格が実現できることを発見し、1987 年に従来の 1/4 の価格を実現しました。このメモリーはカメラのフラッシュのようにデータを一瞬で消すことから“フラッシュメモリー”と名付けました。

しかし画期的な製品は時代の先を行き過ぎていました。当時

は市場がなかったのです。研究職から外れた舂岡氏は東芝を去り東北大へ移って研究を続けました。

しかし 2000 年に入るとフロッピーディスクに変わる新たな記憶デバイスとして USB メモリーが急速に普及し需要は急増します。さらにスマホが登場し市場は爆発的に拡大しました。今ではフラッシュメモリーを使った SSD が従来のハードディスクに代わって多くのパソコンに搭載されています。フラッシュメモリーの市場は 2022 年には 16 兆円になると言われています。

日本では知る人ぞ知る舂岡氏ですが、シリコンバレーではその功績が広く認められ、シリコンバレーのコンピューター歴史博物館にスティーブ・ジョブズやビル・ゲイツと並んで氏の写真が掲げられています。



図 3 普及したフラッシュメモリー

8. 未来戦略ワークショップ「今後の予定」

技術の進歩や経営事例を学び未来の戦略のヒントにする勉強会「未来戦略ワークショップ」当面は ZOOM のみで開催します。事前にお申込みいただければどなたでも参加できます。

【7月】「理解とは何か? (ヒューマンエラーの原因と対策)」

【8月】「設備投資と研究開発、企業とお金について考える」(過去の資料はこちら <https://ilink-corp.co.jp/3322.html>)

ご関心のある方は <https://ilink-corp.co.jp/1669.html> をご参照ください。

9. 冊子「中小企業・小規模企業のための個別製造原価の手引書」【基礎編】【実践編】

「この受注はいくらか?」アワーレートや間接費の分配など製造業の個別原価に必要な内容をわかりやすく書いた冊子です。基本的な考え方の【基礎編】に加えて、間接費の分配や不良損失などをモデル企業の具体的な数字でわかりやすく解説した【実践編】があります。

こちらからご購入いただけます。 <https://ilink-corp.co.jp/4394.htm>



10. 中小企業・小規模企業が使える個別製造原価システム「利益まっくす」

弊社が開発した製造業の個別原価計算が簡単にできる「数人の会社から使える」低価格(15,950 円/月税込)のクラウド型原価計算システムです。詳細は右のサイトを参照願います。 <https://ilink-corp.co.jp/riekimax.html>



11. 編集後記

マニュアル歴 42 年ですが、今でもたまにエンストします。交差点で止まっている車を見ても、周りの人はなぜだかわからないのかもしれない。(実はとても焦っています。(^^;))



株式会社アイリンク 代表取締役 照井清一
〒444-0835 愛知県岡崎市城南町2丁目13-4

TEL 0564-55-5661 / 0564-77-6810 FAX 0564-77-8203

URL <http://ilink-corp.co.jp>  <http://ilink-corp.co.jp/malmag.html>

E-mail terui@ilink-corp.co.jp  <https://www.facebook.com/se.terui>

【通信欄】

